コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ（新設）

18．2．6　コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ

（2）　押出成形セメント板面及び7節［耐候性塗料塗り（DP）］のおけるコンクリート面の素地ごしらえは表18．2．6による。ただし、種別は、塗り工法に応じた節の規定による。

表18．2．6　コンクリート面及び押出成形セメント板面の素地ごしらえ

工　程		種　別		塗　料　そ　の　他			面の処理
		A種	B種	規格番号	規格名称	種　類	
1	乾燥	○	○	—			素地を十分に乾燥させる
2	汚れ、付着物除去	○	○	—			素地を傷つけないように除去する
3	下地調整塗り （注）1	○	—	JIS A 6916	建築用下地調整塗材	C-1,C-2 CM-2又はE	全面に塗り付けて平滑にする
4	吸込み止め	○	○	JASS 18 M-201	反応形合成樹脂シーラー及び 弱溶剤系反応形合成樹脂シーラー		全面に塗り付ける
5	パテしごき	○	—	JASS 18 M-202	反応形合成樹脂パテ	2液形エポキシ樹脂パテ	全面をしごき取り平滑にする
6	研磨紙刷り	○	—	研磨紙P120～220			乾燥後、全面を平らに研磨する

（注）1．押出成形セメント板面の場合は、工程3を省略する。
2．7節［耐候性塗料塗り（DP）］におけるコンクリート面の場合、工程3の建築用下地調整塗材のC－1、C－2又はCM－2の使い分けは、15．6．5［下地調整］（1）による。
3．工程4のシーラー及び工程5のパテは、上に塗り重ねる塗料の製造所の指定するものとする。
4．JASS　18　M-201及びM－202は、日本建築学会材料規格である。

【15．6．5 下地調整】

（1）　コンクリート面の下地調整は、次による。

（ア）　目違いは、サンダー掛け等により取り除く。

（イ）　下地面の清掃を行う。

（ウ）　下地調整塗材C－2を、1～2㎜程度全面に塗り付けて、平滑にする。
ただし、スラブ等の見上げ面、厚付け仕上塗材仕上げ等の場合は、省略する。

（エ）　下地の不陸調整厚さが1㎜以下の場合は、（ウ）の下地調整塗材C－2に代えて、下地調整塗材C－1を平滑に塗り付けることが出来る。

（オ）　下地の不陸調整厚さが3㎜を超えて10㎜以下の場合は、（ウ）の下地調整塗材C－2に代えて、下地調整塗材CM－2を平滑に塗り付けることが出来る。